

Excel 関数講習会 演習問題

2020 年 7 月版

明治大学
生田メディア支援事務室

演習問題 1

[Excel2_practice_data2019.xlsx](#) のシート「問題 1」を開いてください。

- (1) それぞれの人物の 3 科目の合計点を、S で始まる関数を使って求めてください。
- (2) それぞれの人物の 3 科目の平均点を、A で始まる関数を使って求めてください。平均点は、小数点第 1 位を四捨五入して整数で表示してください。

演習問題 2

Excel2_practice_data2019.xlsx のシート「問題 2」を開いてください。

- (1) 下表の合計点、出席数をそれぞれ求め、合計点が 350 以上かつ出席数が 5 の時に合格を、それ以外では不合格を関数を使ってそれぞれ表示させてください。
- (2) 条件付き書式を使って上表の合格は青に、不合格は赤に背景の色を変えてください。
- (3) フィルターを使って、合計点が高い順にソートしてください。
- (4) フィルターを使って、合格者だけを抽出してください。
- (5) フィルターを使って、国語が 80 点以上 かつ 合計点が 350 以上 の生徒を抽出してください。

演習問題 3

Excel2_practice_data2019.xlsx のシート「問題 3」を開いてください。

- (1) 関数を使って単価表を参照し、各日付の商品に対応する単価を表示してください。
(ヒント：VLOOKUP 関数を用いる。)
- (2) 各日付の売上を表示してください。(ヒント：売上=単価×数量)
- (3) 条件付き書式を使って、一行おきに売上表に色を付けてください。(色は何色でも構いません)
- (4) フィルターを使って、売上金額の高い順に 5 日分抽出してください。
(ヒント：[数値フィルター]→[トップテン]で任意個の上位または下位項目を抽出できる。)

演習問題 4

Excel2_practice_data2019.xlsx のシート「問題 4」を開いてください。

- (1) 出席数を COUNTA 関数を用いて表示させてください。
- (2) 合計点が 350 以上かつ出席数が 5 の者を合格とし、合格者の人数を COUNTIFS 関数を用いて表示させてください。
- (3) 合格者の合計点を SUMIFS 関数を用いて表示させてください。
- (4) 不合格者の平均点を AVERAGEIFS 関数を用いて表示させてください。

演習問題 5

Excel2_practice_data2019.xlsx のシート「問題 5」を開いてください。

これは、ある人の 2 週間における国語・数学の小テストの得点表です。しかし、肝心の日付が埋められていません。

- (1) 初日(セル[A2])を 2020 年 4 月 1 日として、オートフィルを用いて日付を埋めてください。セル[A15]が 4 月 14 日になっていれば正解です。オートフィルを用いた際に日付が正しく表示されない場合は、対象セルをアクティブにして
右クリック→セルの書式設定→表示形式の分類を「日付」にすると直ることがあります。
- (2) セル[E3]やセル[F3]をアクティブにしてみると、プルダウンリストになっていることがわかんと思います。ここから(1)で入力した日付や科目を選択することができます。今回は日付に「4 月 7 日」を、科目に「国語」を選択してください。このときに、得点を表すセル[G3]に、選択した日付の、選択した科目の得点を表示するようにしてください。

(ヒント)

テキストで学んだ VLOOKUP 関数 と、MATCH 関数 を混合するとよいでしょう。MATCH 関数 についてはテキストに書かれていないため、ここで捕捉します。挙動を確認するために、セル[H4]:[H6]に確認用の枠を用意したので活用してください。

【(2)の補足】

【MATCH 関数】

書式は以下のようになります。

=MATCH (検査値,検査範囲,[照合の種類])

検査値：検索する値またはセルを指定する。

検査範囲：参照表の範囲を指定する。

2 列以上のセルを絶対参照で指定します。

照合の種類：1=以下 0=完全一致 -1=以上

目的に応じた数字を指定する。

MATCH 関数は、指定された照合の種類に従って検査範囲内を検索し、検索値と一致する要素の、配列内での相対的な位置を表す数値を返します。

VLOOKUP 関数の書式

VLOOKUP (検索値, 範囲, 列番号, 検索の型)

内の列番号には、検索範囲となる参照表の左端からの列番号を指定しました。今回は、選択した科目によって表示する列を変更しなければならないので、科目の文字列を列番号に変換する必要があります。要するに、“国語”を選択している場合は2を、“数学”を選択している場合は3を返す必要があるので、MATCH 関数を活用してみてください。

演習問題 6

Excel2_practice_data2019.xlsx のシート「問題 6」を開いてください。

- (1) データ表から不要なデータ列、データ行を削除してみましょう。今回は「先生」の行と「体育」の列を削除してください。
- (2) 「平均」の欄を追加したのち、追加各教科の平均点を求めてください。
(ヒント：A から始まる関数を使用する。)
- (3) 出席者のみの点数で各教科の平均点を求めます。「出席者の平均」の欄を追加し、欠席者は 0 点となっているので、0 点を計算に含めずに平均を求めてください。
(ヒント：条件を指定して平均を求める。0 以外は「<>0」と表記する。)
- (4) 平均点の計算結果の表記を変更します。小数点下一桁まで表示してください。
- (5) (3)、(4)と同様に個人ごとの出席した試験の点数の平均を求めてください。結果は小数点下一桁で表示しましょう。
- (6) 「順位」の欄を追加したのち、(5)にて求めた平均点から順位を決めてください。
(ヒント：RANK 関数を使用する。)

=RANK(数値, 参照)

数値には計算した平均点、参照には比較範囲が入る。)